

# 「本格的IoT時代をにらんだ電波分野の研究者ネットワーク」第4回意見交換会 《高知県における電波の利活用事例を考察》

四国総合通信局(局長:川村 一郎)は、令和元年7月5日(金)にオーテピア(高知市)で「本格的IoT時代をにらんだ電波分野の研究者ネットワーク」の第4回目の意見交換会を開催しました。同ネットワークは、管内の電波分野の研究に取り組む研究者の交流及び意見交換の場を設けると共に、電波に関する技術情報や利活用・実証実験の事例も共有することにより、研究者をサポートすることを目的に立ち上げたものです。四国管内の4大学、5高等専門学校と管外の1大学から17名の研究者が参加しています。

第4回目の意見交換のテーマは、「高知県における電波の利活用～高知県IoT推進ラボ研究会での事例考察～」であり、ネットワーク研究者17名のうち8名が当日出席し、活発な意見交換と情報共有が行われました。

## 【ネットワーク研究者による最新研究開発の紹介】

総務省の戦略的情報通信研究開発推進事業(SCOPE(※))において、今年度、ネットワーク研究者である愛媛大学の都築教授が研究代表者、弓削商船高等専門学校の長尾教授と益崎助教が研究分担者となっている研究課題「島しょ部住民と小型船舶のための瀬戸内海IoT減災プラットフォームに関する研究」が、社会展開指向型研究開発(3年枠)に採択されたことから、研究分担者である長尾教授が本採択課題の研究内容について紹介しました。

## 【国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)からの情報提供】

NICT戦略的プログラムオフィスの吉田イノベーションプロデューサーが、高知県におけるNICTの研究開発の取組事例を紹介。また、SCOPEサポーターグループメンバーの視点から、上記のSCOPE採択課題について、採択につながった評価ポイントについて解説しました。

## 【高知県における電波の利活用事例1の紹介】

高知県商工労働部産業創造課IoT推進室の谷内室長が、「高知県IoT推進ラボ研究会」の取組について紹介しました。

## 【高知県における電波の利活用事例2の紹介】

高知県IoT推進ラボ研究会からの推薦会員の取組事例として、株式会社STNetの吉本理事が、高知県における林業の業務効率化のための公共ブロードバンド移動通信システムによる映像伝送実験について紹介しました。

## 【高知県における電波の利活用事例3の紹介】

オーテピア館内に設置されたビーコン発信機から出ている電波を、スマートフォンのBluetooth機能で受信することにより、地図上に自分の位置や探している本がどの本棚にあるのかを表示させたり、展示物の解説を表示する「オーテピア・アプリ」について、高知工業高等専門学校の今井嘱託教授が開発経緯を紹介。その後、参加者はオーテピア館内の施設とビーコン発信器の設置状況を見学、アプリをダウンロードして実体験しました。

※ 戦略的情報通信研究開発推進事業(SCOPE: Strategic Information and Communications R&D Promotion Programme)は、情報通信技術(ICT)分野において新規性に富む研究開発課題を大学・独立行政法人・企業・地方公共団体の研究機関などから広く公募し、選考評価の上、研究を委託する総務省の研究開発資金です。電波有効利用促進型研究開発は、電波の有効利用をいっそう促進するため、新たなニーズに対応した無線技術に関する先進的かつ独創的な研究開発を推進するプログラム。



意見交換会の様子



施設見学(アプリ体験)の様子

## 【お問い合わせ先】

無線通信部 電波利用企画課 電話 089-936-5071